

平成 28 年度 第 6 回中区協議会

会議資料

平成 28 年 9 月 21 日開催

中区協議会

第9号様式

区 協 議 会

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項	<input checked="" type="checkbox"/> 協議事項	<input type="checkbox"/> 報告事項
件 名	浜松市空家等対策計画（案）のパブリック・コメント実施について		
事業の概要 （背景、経緯、現状、 課題等）	<p><背景></p> <p>背景：空家問題は、防災・衛生等、多岐にわたり住民の生活環境に悪影響を及ぼす可能性があることから、空家対策に関する市の取り組みを体系的に整理し、総合的かつ一体的に推進するため、新たに計画を作成するものです。</p> <p>経緯：平成27年度有識者による「浜松市空家等対策委員会」を組織し計画（案）を作成しました。</p> <p>現状：倒壊等の危険な空家については、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、指導等を実施しています。</p> <p>課題：増加する空家と管理不全状態の危険な空家 流通しない中古住宅</p>		
対象の区協議会	全区		
内 容	<p>[パブリック・コメントの概要]</p> <p>案の公表及び意見募集期間 平成28年10月11日(火)から平成28年11月9日(水)まで</p> <p>案の公表先 市民生活課、市政情報室、区役所、協働センター、中央図書館、市民協働センター（中区中央一丁目）、パブコメPRコーナー（市役所本館1階ロビー）</p> <p>広報はままつ10月号に情報掲載、浜松市ホームページ（http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp）に掲載 【トップページ→ご意見・お問い合わせ→パブリック・コメント制度】</p>		
備 考 （答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など）	市の考え方公表時期（予定） 施行時期（予定）	平成28年12月 平成29年4月1日	
担当課	市民生活課		

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

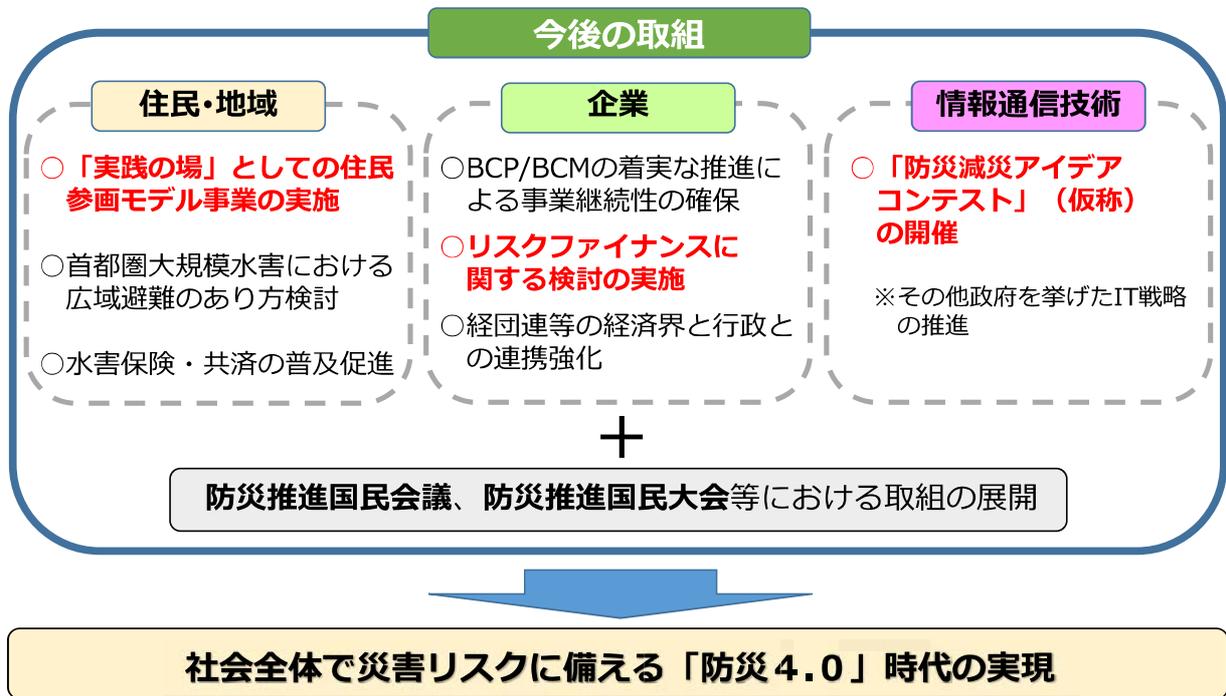
区 協 議 会

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input checked="" type="checkbox"/> 協議事項 <input type="checkbox"/> 報告事項												
件 名	「防災 4.0」住民参画モデル事業の実施について												
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	<p>経緯：昨年12月、内閣府では『「防災 4.0」未来構想プロジェクト』が設置され、本年6月に提言が取りまとめられた。提言では「災害の備えを『自分ごと』と捉えるためには、国民一人ひとりが自ら行動するための契機を提示することで、国民自らが意識を転換する必要がある。」、「防災対策に関する『策定プロセス』に自ら関与することにより、自ら考え、『自分ごと』として捉えることが有効である。」とされた。</p> <p>このような背景を受け、地域住民が防災対策に関して自ら「自分ごと」と捉えるための「実践の場」として、本市をモデルとした住民協議会を実施する。</p> <p>実施主体：内閣府</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「防災 4.0」未来構想プロジェクト</p> <p>地球温暖化に伴う気候変動に関する科学的知見を踏まえ、今後、激甚化が予想される災害の様相を示すとともに、これから必要な「災害リスクへの備え」について検討し、提言を行うため開始されたプロジェクト。</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 「防災 1.0」伊勢湾台風（1959） <input checked="" type="checkbox"/> 「防災 2.0」阪神・淡路大震災（1995） <input checked="" type="checkbox"/> 「防災 3.0」東日本大震災（2011） <input checked="" type="checkbox"/> 「防災 4.0」地球温暖化に伴う気候変動がもたらす災害の激甚化（2015） </p> </div>												
対象の区協議会	中区協議会												
内 容	<p>住民協議会の実施</p> <p>①住民協議会の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無作為抽出の住民60名程度 (20名程度の3つのワーキンググループを編成) ・コーディネーター（内閣府委託） ・市防災担当 <p>②無作為抽出の条件等</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="text-align: center;">対象地域・年齢等</td> <td style="text-align: center;">中区・15歳以上の男女</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">抽出人数</td> <td style="text-align: center;">1,500人</td> </tr> </table> <p>※内閣府が災害特性を考慮し中区を選定 風水害と土砂災害の危険性が高く、近年被害が発生しているため</p>	対象地域・年齢等	中区・15歳以上の男女	抽出人数	1,500人								
対象地域・年齢等	中区・15歳以上の男女												
抽出人数	1,500人												
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">平成 28 年 10 月</td> <td>参加者選定、協議会準備</td> </tr> <tr> <td>11 月</td> <td>第 1 回会議、ワーキンググループの編成</td> </tr> <tr> <td>12 月</td> <td>第 2 回会議</td> </tr> <tr> <td>平成 29 年 1 月</td> <td>第 3 回会議</td> </tr> <tr> <td>2 月</td> <td>第 4 回会議</td> </tr> <tr> <td>3 月</td> <td>第 5 回会議、報告書作成</td> </tr> </table>	平成 28 年 10 月	参加者選定、協議会準備	11 月	第 1 回会議、ワーキンググループの編成	12 月	第 2 回会議	平成 29 年 1 月	第 3 回会議	2 月	第 4 回会議	3 月	第 5 回会議、報告書作成
平成 28 年 10 月	参加者選定、協議会準備												
11 月	第 1 回会議、ワーキンググループの編成												
12 月	第 2 回会議												
平成 29 年 1 月	第 3 回会議												
2 月	第 4 回会議												
3 月	第 5 回会議、報告書作成												
担当課	危機管理課												

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

「防災4.0」未来構想プロジェクト有識者提言を受けた今後の展開

「防災4.0」未来構想プロジェクト有識者提言において、「国民（住民・地域）視点」及び「企業視点」に加え、横断的な「情報通信技術の活用」の3本の柱を提示



「実践の場」としての住民参画モデル事業の実施

背景

「防災4.0」未来構想プロジェクト有識者提言

- 住民へ災害への備えを「自分ごと」と捉え、自ら行動するための契機を提示することが必要
- 住民は防災について自ら考え、「自分ごと」として捉えることが必要

浜松市をモデルに**住民協議会**※を実施（第1回を秋ごろ実施することを想定）

実施内容

- 浜松市が無作為により住民を抽出し、防災について検討する場を設置
- この検討の場において、防災について住民自らが検討を実施
※詳細な検討内容については浜松市において検討中
- 防災を「自分ごと」として捉え、住民1人1人が自ら行動する契機に
- 内閣府において手法の有効性の検証や「実践の場」の知見を蓄積



▲三鷹市「まちづくりディスカッション」

※住民協議会

無作為に抽出された住民が委員となり、地域の実態や課題を踏まえながら解決策を検討する協議会。2005年頃から「市民協議会」という名称で広まった手法で、地域の課題や状況に応じながら手法や名称が様々なアレンジされている。（例）三鷹市「まちづくりディスカッション」等

第9号様式

区 協 議 会

区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 諮問事項 <input type="checkbox"/> 協議事項 <input type="checkbox"/> 報告事項
件 名	平成 29 年度中区役所費予算要求の概要について
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	—
対象の区協議会	中区協議会
内 容	<p>平成 29 年度中区役所費の予算要求の概要について諮問するもの。 詳細は別紙のとおり。</p>
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10 月 12 日：答申（次回の区協議会） ・ 10 月 18 日：財政課へ予算要求
担当課	中区区振興課

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

平成29年度 中区役所費 予算要求の概要（案）

（単位：千円）

費用項目	29年度当初 要求額A	28年度当初 予算額B	増減 (A-B)	内 容
中区役所費	324,712	411,464	-86,752	人件費を除く
区管理運営事業	9,857	9,857	0	区役所の運営や公有財産の維持管理等に要する経費 ※調整中のため今年度と同額で計上
協働センター管理運営事業	99,087	99,087	0	協働センターの運営や維持管理等（保守点検、光熱費など）に要する経費 ※調整中のため今年度と同額で計上
区協議会運営事業	165	165	0	区協議会開催に要する経費（郵便料など）
地域力向上事業	21,825	21,225	600	○市民提案による住みよい地域づくり助成事業（補助金） 5,000千円 ○区民活動・文化振興事業（※） ○区課題解決事業（※）（※）調整中のため今年度と同額で計上
行政連絡文書配布事業	101,066	100,551	515	行政連絡文書の配布を自治会に委託するための経費（109,854世帯）
自治会振興事業	92,712	180,579	-87,867	○自治会集会所整備助成金（補助金） 2,340千円 【内訳】・新築（上限8,000千円）0件 ・改築（耐震補強無し）（上限3,000千円）2件 広沢・富塚東 ・改築（耐震補強有り）（上限3,500千円）0件 ○防犯灯設置維持管理助成事業（補助金） 90,372千円 【内訳】・設置費補助金 48,045千円（共架式 1,631灯、独立式 181灯） ・維持管理費補助金 電気料 35,803千円（16,309灯） 補修費 6,524千円（16,309灯）